

第三次国立市子ども総合計画重点取組みの実施評価

重点的取組み名	所管課	総合評価
外国籍の生徒への学習支援の充実	公民館	C

	取組み内容	評価
1.	外国籍の子どもへの学習支援「LABO☆くにスタ」	E
2.	学習支援を通じた「居場所づくり」	A
3	その他各学習支援事業や関係部署との連携	C

令和 6 年度までの実績または取組の現状

- ・市内の中高生を対象として、学習支援事業「LABO☆くにスタ」を継続して実施。水曜日の午後 6 時～8 時に月 3 回程度開催している。令和 5 年度は 36 回実施。
- ・令和 5 年度の学習者の延べ参加人数は 837 名、支援スタッフ(主に大学生)の延べ参加人数は 698 名。
- ・参加者は外国籍の子どもに限定せず、市内在住・在学の中高生であれば誰でも参加できるようにしている。現在外国籍の子どもの参加はない。
- ・参加者同士や支援スタッフとの関係性を築く機会として、交流イベントを年に 2 回程度開催。令和 5 年度は 8 月に流しそうめん、3 月にカレー作りを行った。
- ・終了後に支援スタッフのミーティングを行っており、よりよい居場所づくりのためにできることを検討している。その結果、長く関わっているスタッフを中心に、支援スタッフが主体的に運営する体制が出来上がっている。

課題及び改善点

- ・SSW などから、学習支援・居場所が必要な子どもを紹介していただいているが、まだまだ本当に支援が必要な子どもに情報が届けられていない部分がある。
- ・公民館のホールの定員がいっぱいになっており、学習者の受け入れ人数に限りが出てきている。

今後の方向性

継続実施

理由

- ・他の学習支援団体や子ども食堂などとも連携を行い、学習支援・居場所を必要とする子どもを受け入れられるように働きかける。
- ・より多くの学習者を受け入れられるように、運営方法を検討する。